



道路情報登録閲覧システム

Ver3.0 更新インストールマニュアル

道路情報登録閲覧システム(庁内版)

Ver3.0

道路情報登録閲覧システム(庁内版) Ver3.0 Ver3.0 更新インストールマニュアル(Ver3.0)

2010/3/25 初版

発行: 一般財団法人建築行政情報センター

【目次】

1	更新版のインストールについて	1
1.1	道路情報登録閲覧システムの更新インストール	1
1.2	システム関連ファイルの更新	5
2	クライアントのブラウザキャッシュの削除	6
2.1	Internet Explorer の場合	6
2.1.1	IE9 の場合	6
2.1.2	IE8 の場合	7
2.1.3	IE7 の場合	8
2.1.4	IE6 の場合	9
2.2	FireFox18 の場合	10
3	インストール状態の確認	11

1 更新版のインストールについて

本マニュアルは、道路情報登録閲覧システム(Ver2.0.0)が既にインストールされている環境を道路情報登録閲覧システム(Ver3.0.0)に更新する方法について述べたものです。

Ver3.0.0 バージョンアップ用差分インストーラでは、Windows Server 2003 の現行システム(Ver2.0.0.)からのバージョンアップを行います。Windows Server 2008 にセットアップする場合や、新規に Windows Server 2003 にセットアップする場合は、Ver3.0.0 フルインストーラをご利用ください。

1.1 道路情報登録閲覧システムの更新インストール

道路情報登録閲覧システムのバージョンを 3.0.0 に更新するインストール作業の説明をします。更新インストールを行うためには、バージョン 2.0.0 がインストール済みである必要があります。

 :インストール済みのバージョンが分らない場合、以下のテキストファイルを参照してください。

<システムをインストールしたドライブ名>%roadinfo¥application¥config¥version.txt

また、本システムを動作させたまま更新インストール作業を行います。作業中はシステムにクライアントからアクセスされないようにしてください。作業の前には、バックアップを行なってください。

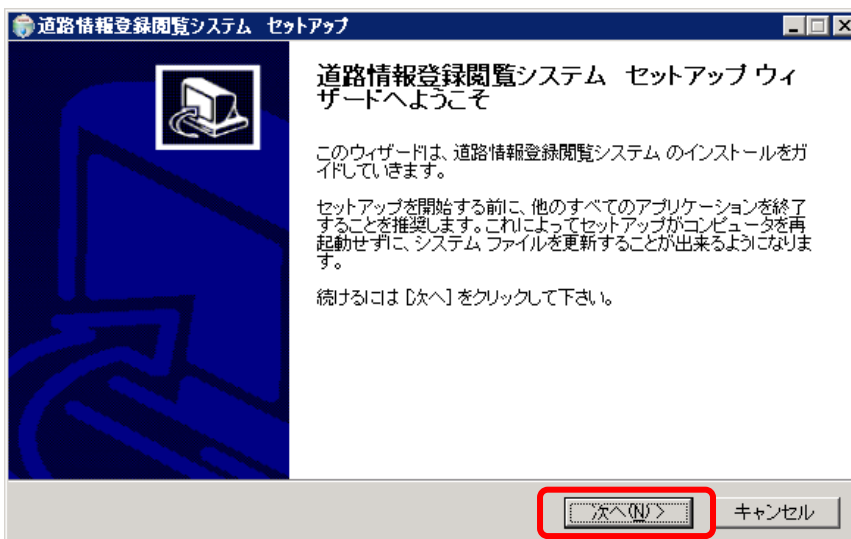
 :バックアップについては、運用管理マニュアルを参照願います。

以下に示す表を参照し、インストール済みのバージョンに対応する SetupSabun*****.exe を実行してください。

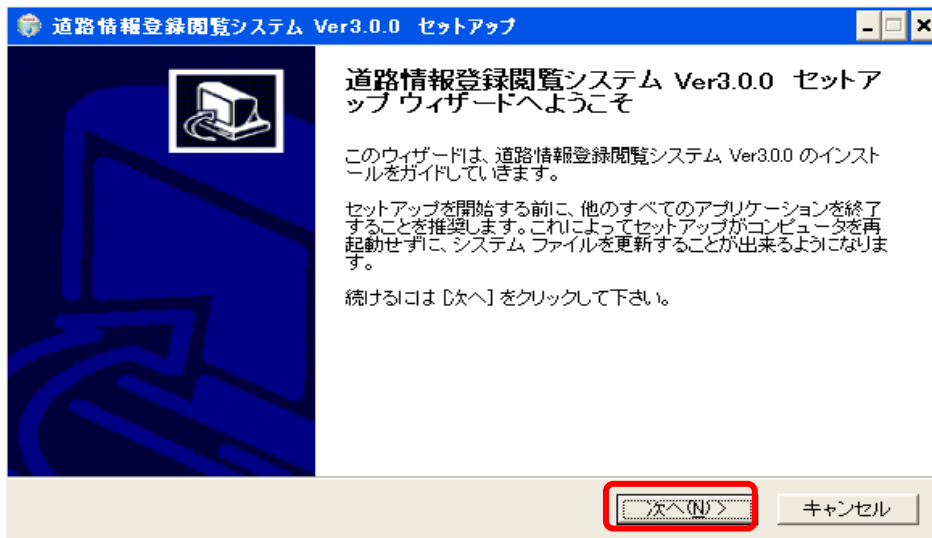
項番	インストール済みのバージョン	対応する更新インストーラ
1	道路情報登録閲覧システム(庁内版) バージョン 3.0.0	<インストール CD>%更新インストーラ¥ SetupSabun200to300.exe

「次へ」をクリックしてください。

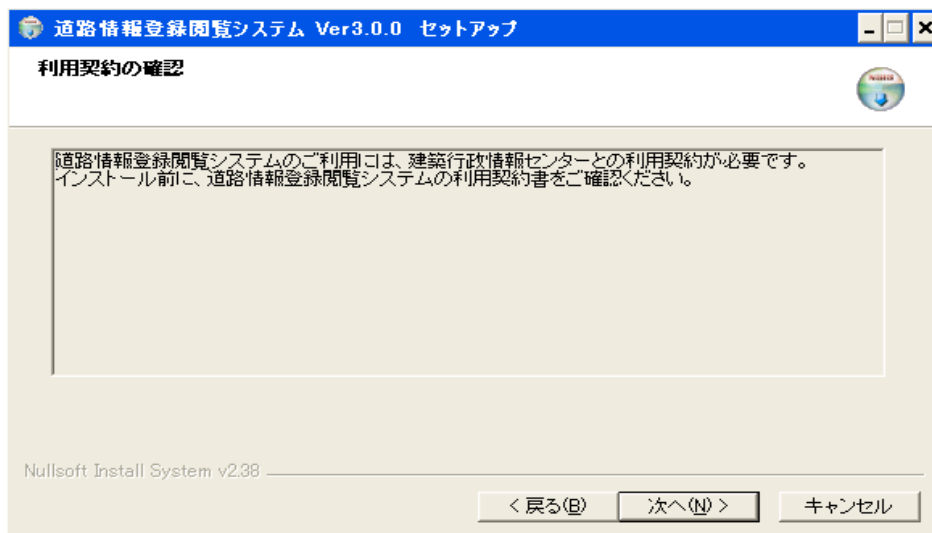
セキュリティの警告ウインドウが表示された場合、[実行]ボタンをクリックしてください。



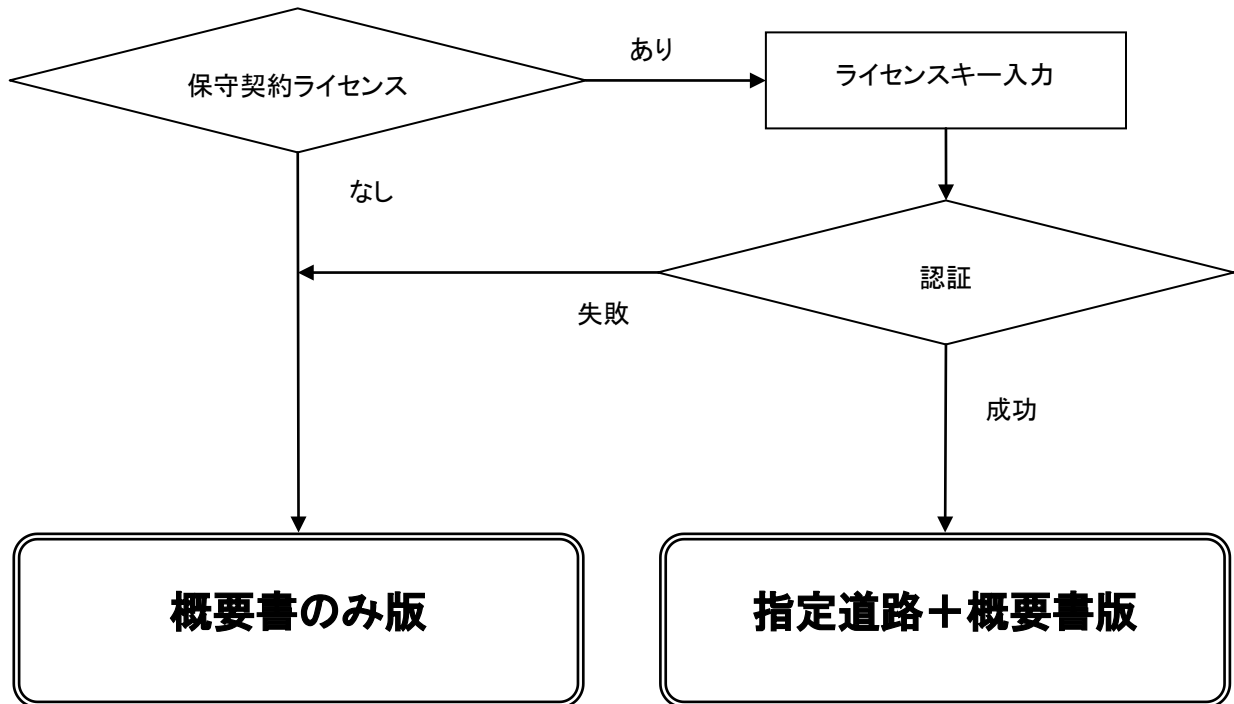
2)[次へ]ボタンをクリックしてください。



3)ライセンスキーを入力して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



-
- ④ : 保守契約ライセンスをお持ちの場合は、ライセンスキーを正常に入力することで指定道路+概要書版をご利用頂けます。ライセンスキーをお持ちでない場合は何も入力せずに[次へ]をクリックすることで、概要書のみ版をご利用頂けます。
 - ④ : 一度概要書のみ版をインストールした後に指定道路+概要書版に変更したい場合は、再度インストール済みのバージョンに対応する SetupSabun*****.exe を実行することで、既存のデータはそのままの状態指定道路+概要書版にアップグレードすることが可能です。
-

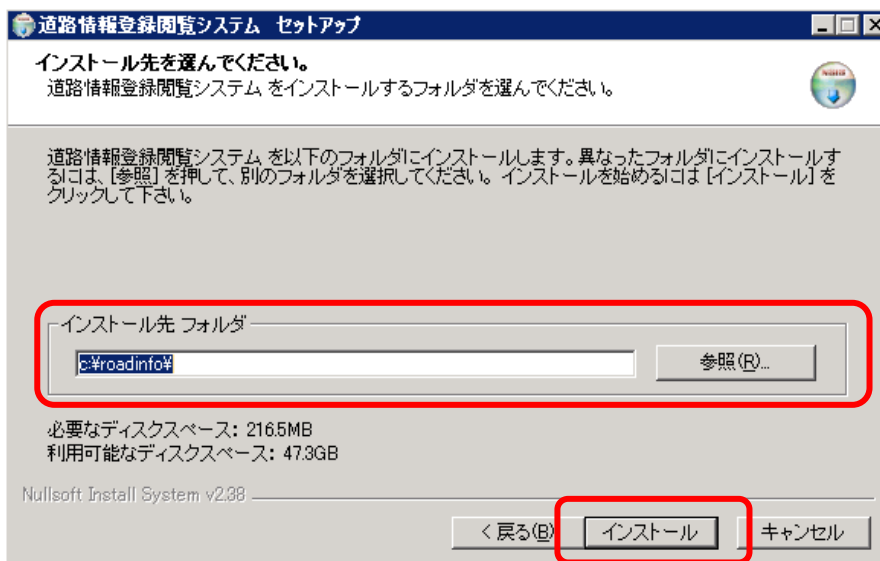


4) インストール先のフォルダが道路情報登録閲覧システムバージョン 2.0.0 をインストールしたフォルダであることを確認し、[インストール]ボタンをクリックしてください。(更新対象ファイルが上書きインストールされます。)

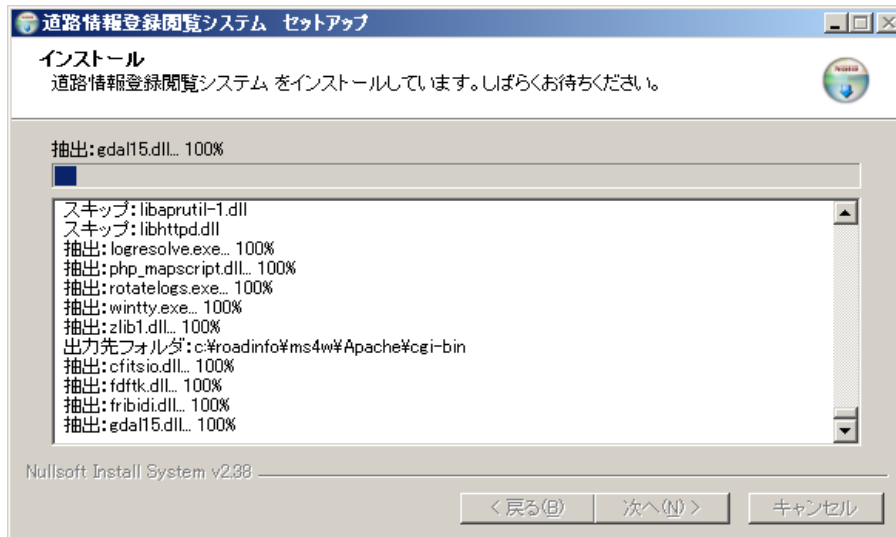
バージョン 2.0.0 がインストールされているパスを指定してください。(“ドライブ名”+“¥roadinfo¥”)

例

cドライブに更新インストールする場合、“c:¥roadinfo¥”となります。



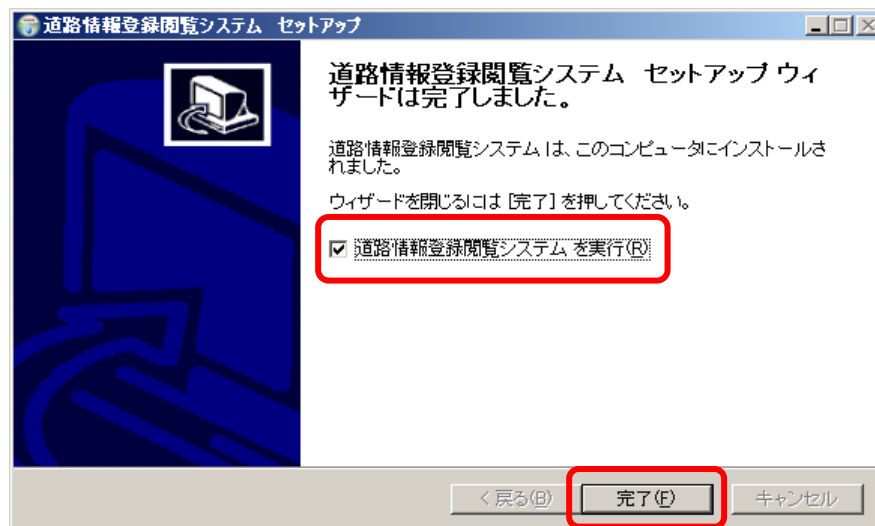
5) インストールが開始されます



6) 以下の画面が表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。



7) 「道路情報登録閲覧システムを実行」にチェックがされていることを確認し、[完了]ボタンをクリックしてください。



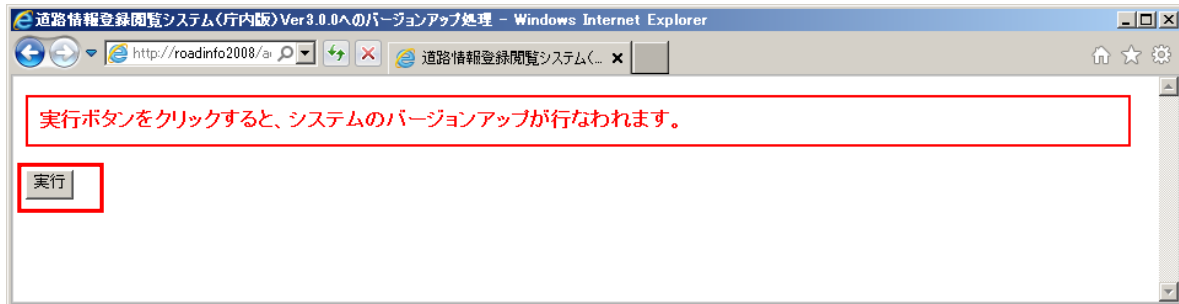
コマンド・プロンプトウィンドウが一時的に表示されます。作業完了です。

1.2 システム関連ファイルの更新

この作業は、Web サーバで OS の管理者権 (Administrator 権限) を持ったユーザで実行する必要があります。

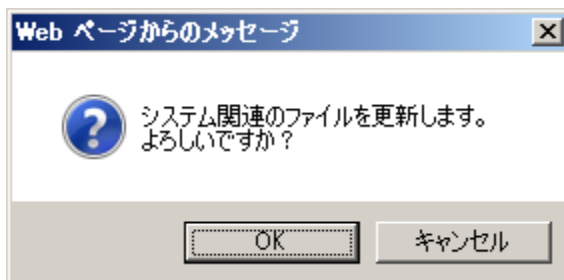
1) ブラウザを起動し、「<http://localhost/admin/update.php>」にアクセスしてください。

以下に示すページが表示されます。文字が化けて表示される場合、ブラウザの設定で文字コードを UTF-8 に変更します。このページで2)で説明する設定を行います。

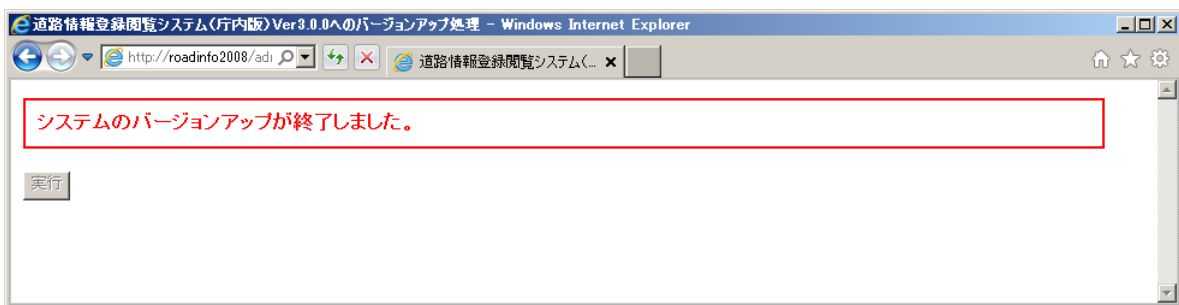


2) [実行]ボタンをクリックします。

3) 以下の確認画面が表示されるので、実行してよろしければ[OK]ボタンをクリックしてください。



4) 以下の画面が表示されれば、更新完了です。



5) サーバを再起動してください。

OS の管理者 (Administrator) 権限を持ったユーザで実行する必要があります。再起動しないと、パス等の設定が正しく反映されない可能性があるため、必ず行ってください。

以上でバージョンアップ作業は終了となります。

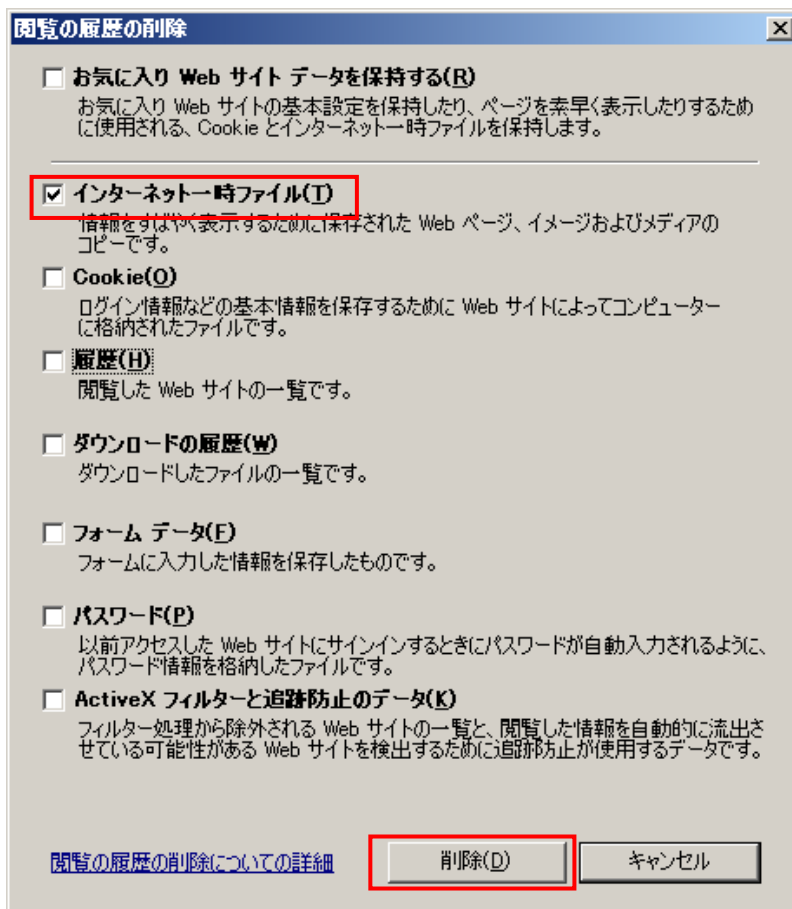
2 クライアントのブラウザキャッシュの削除

2.1 Internet Explorer の場合

クライアントのコンピュータにおいてブラウザのキャッシュの削除を行います。各ブラウザに応じて手順がことなります。

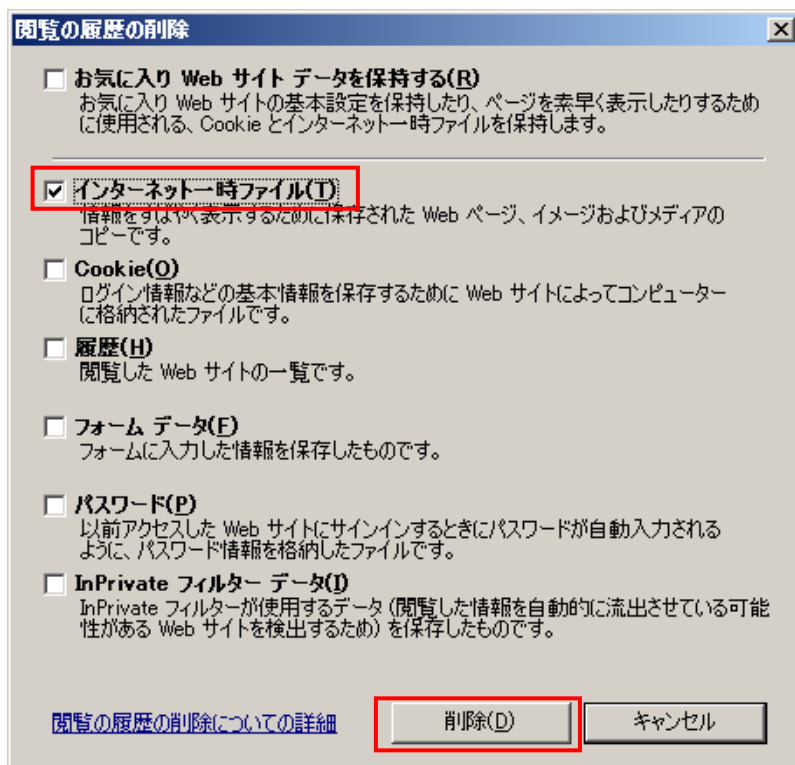
2.1.1 IE9 の場合

[ツールメニュー] - [閲覧の履歴の削除]で表示される画面で、[インターネット一時ファイル]をチェックし、[削除]ボタンをクリックします。



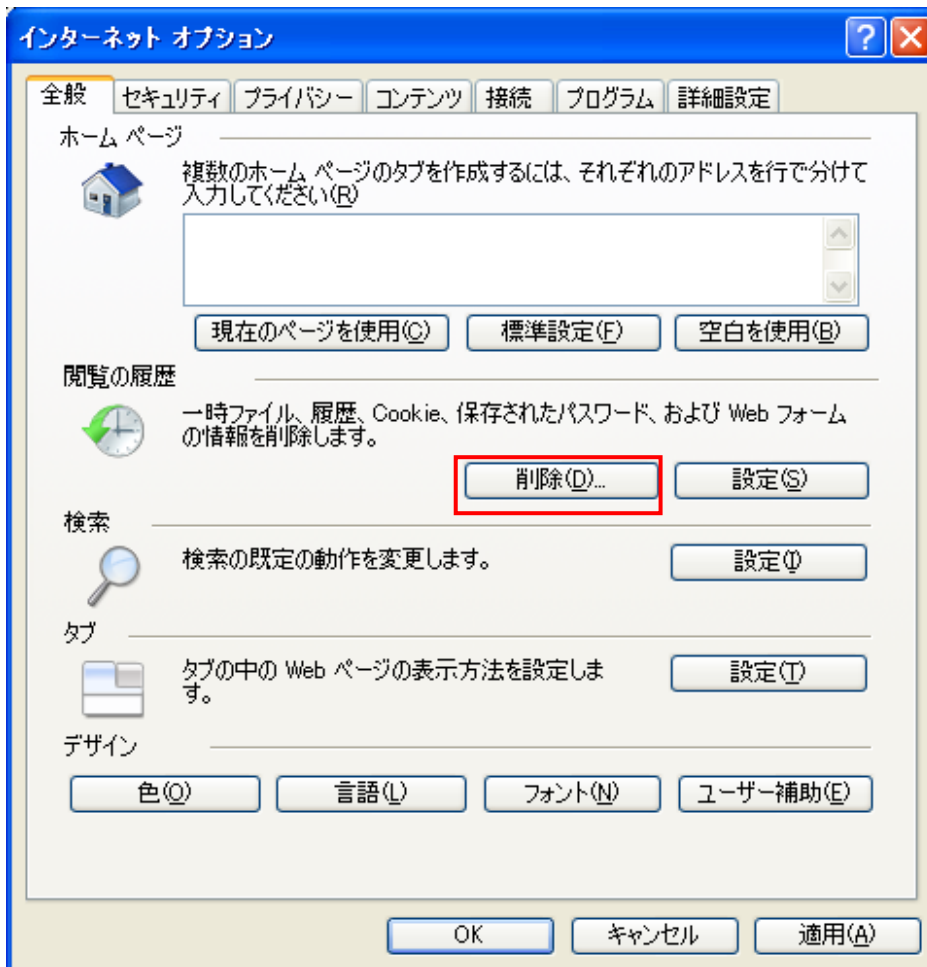
2.1.2 IE8 の場合

[ツールメニュー]- [閲覧の履歴の削除] で表示される画面で、[インターネット一時ファイル]をチェックし、[削除] ボタンをクリックします。

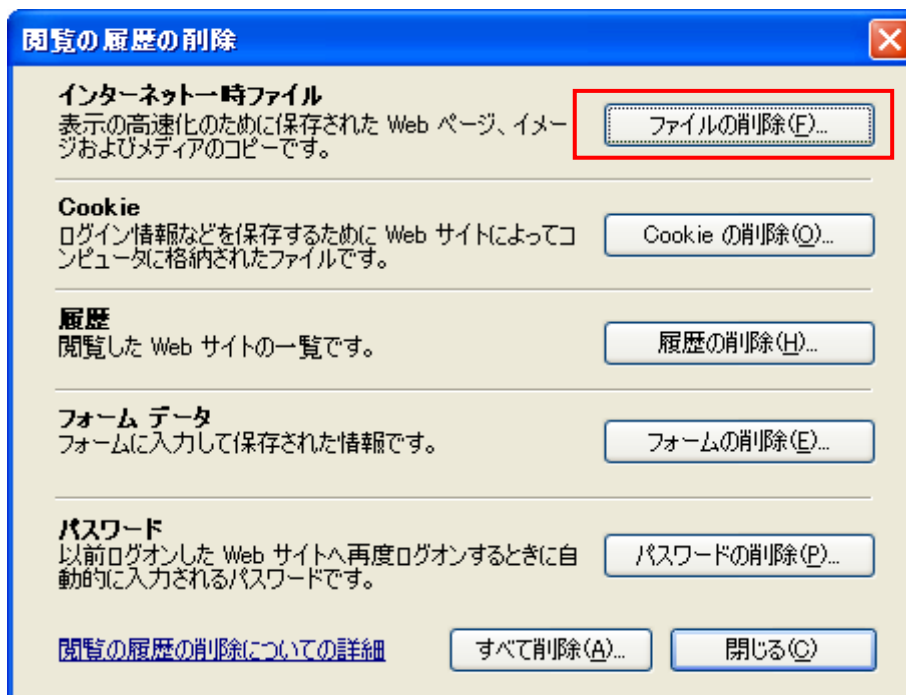


2.1.3 IE7 の場合

[ツールメニュー]—[インターネットオプション]で表示される画面の閲覧の履歴にある[削除]ボタンをクリックします。

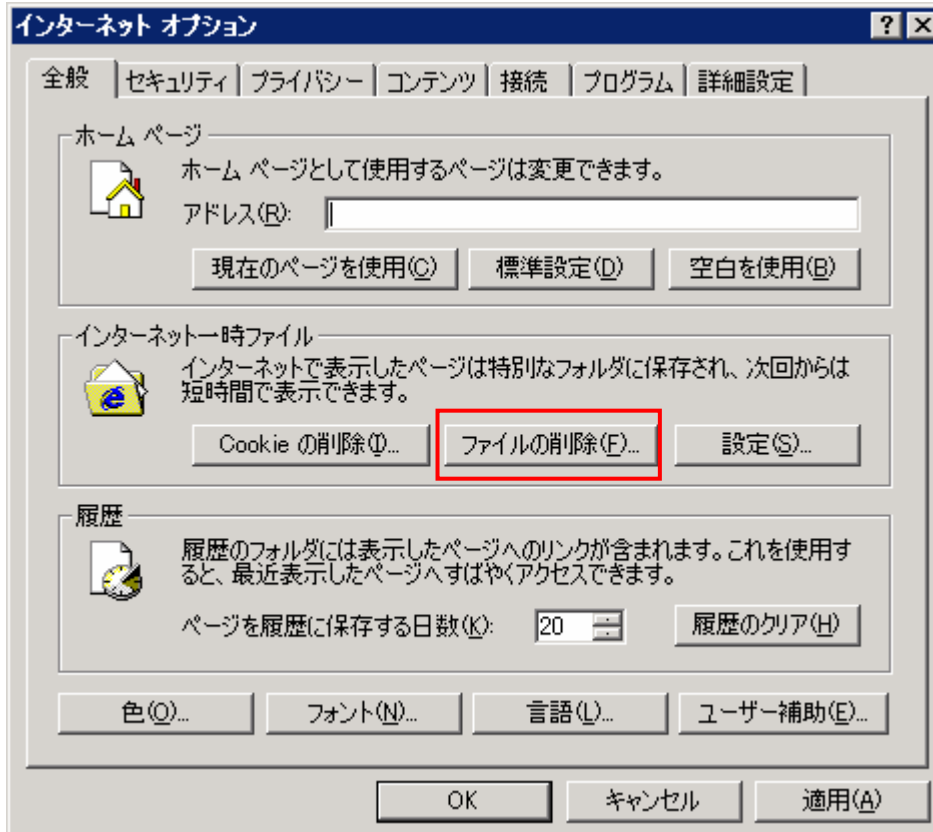


ファイルの削除ボタンをクリックします。

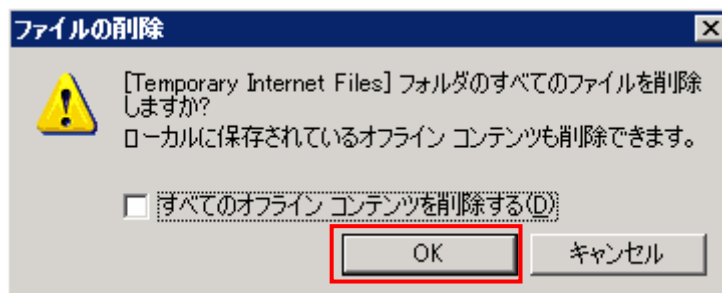


2.1.4 IE6 の場合

[ツールメニュー]-[インターネットオプション]で表示される画面のインターネット一時ファイルにある[ファイルの削除]ボタンをクリックします。

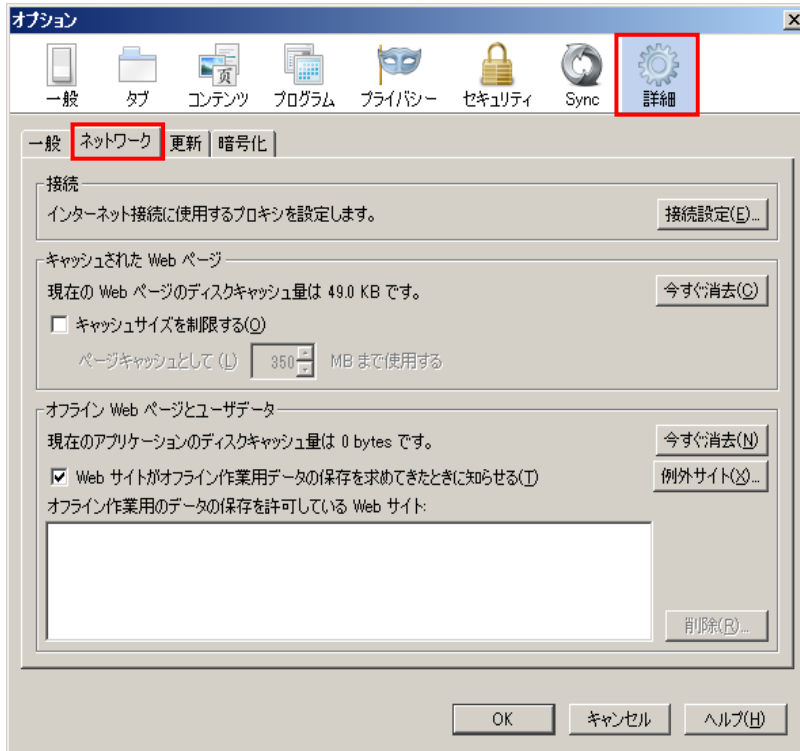


次に以下のようなメッセージボックスが表示された場合は OK ボタンを押します。

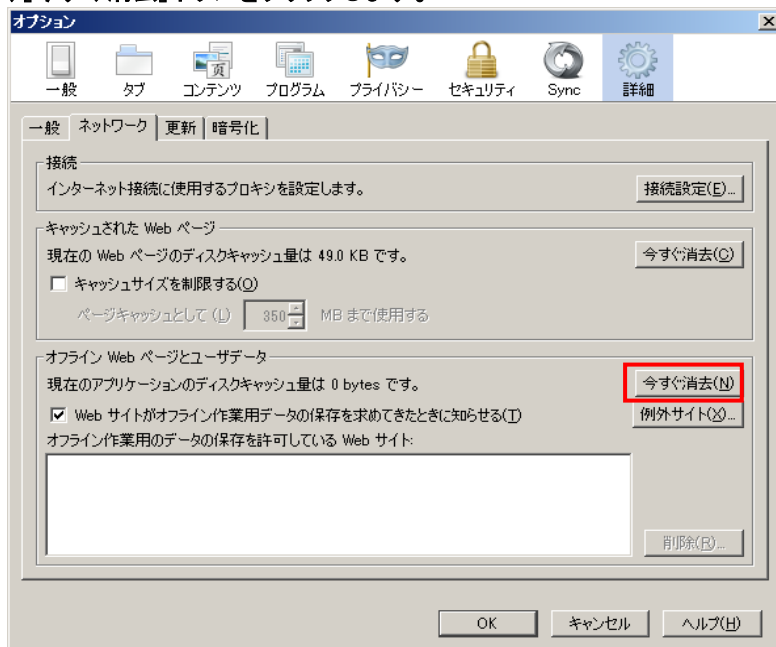


2.2 Firefox18 の場合

- 1) Firefox18 を起動し、メニューの[ツール]-[オプション]を選択します。オプションウィンドウが表示されるので [詳細]-[ネットワーク]タブをクリックします。



- 2) [今すぐ消去]ボタンをクリックします。



- 3) オプションウィンドウの[OK]ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

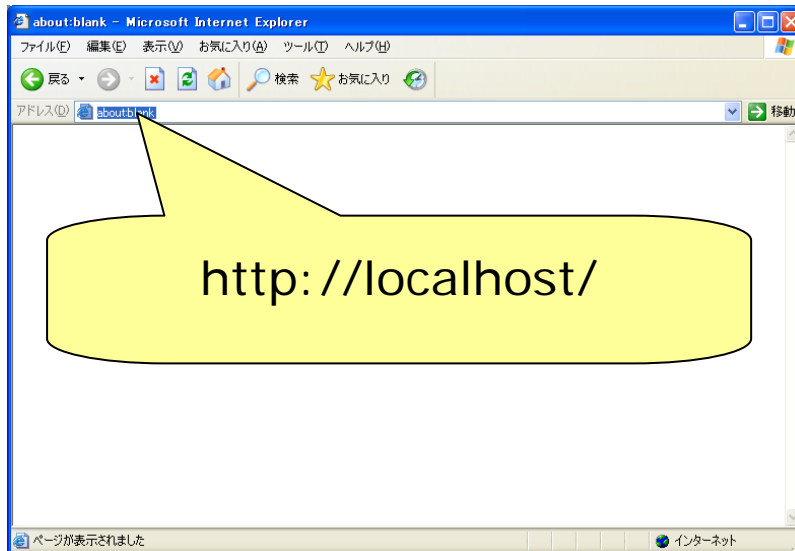
- 4) ブラウザを閉じます。

作業完了です。

3 インストール状態の確認

1) インストール状態の確認をします。

以下の URL をサーバの Web ブラウザのアドレス欄に `http://localhost/` と入力します。



2) 以下のページでログインし、システムが正常に動作していることを確認してください。



 :システムとして利用するには、地図データ、指定道路調書等のデータ登録作業が必要です。